

Microsoft FTP サーバでの Cisco Unity Express のバックアップと復元の実行

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[バックアップ設定](#)

[復元設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティング手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Express システムおよびデータ ファイルを使用して Microsoft FTP サーバとの間でバックアップおよび復元操作を実行する方法について設定例を紹介します。

前提条件

要件

この設定を開始する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

- Microsoft FTP サーバで FTP パブリッシング サービスが起動されていること
- Microsoft FTP サーバから Cisco Unity Express モジュールへの IP 接続
- Microsoft FTP サーバの FTP ディレクトリへの読み取りと書き込み権限

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft Windows 2000 FTP サーバ
- Cisco Unity Express バージョン 1.1.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

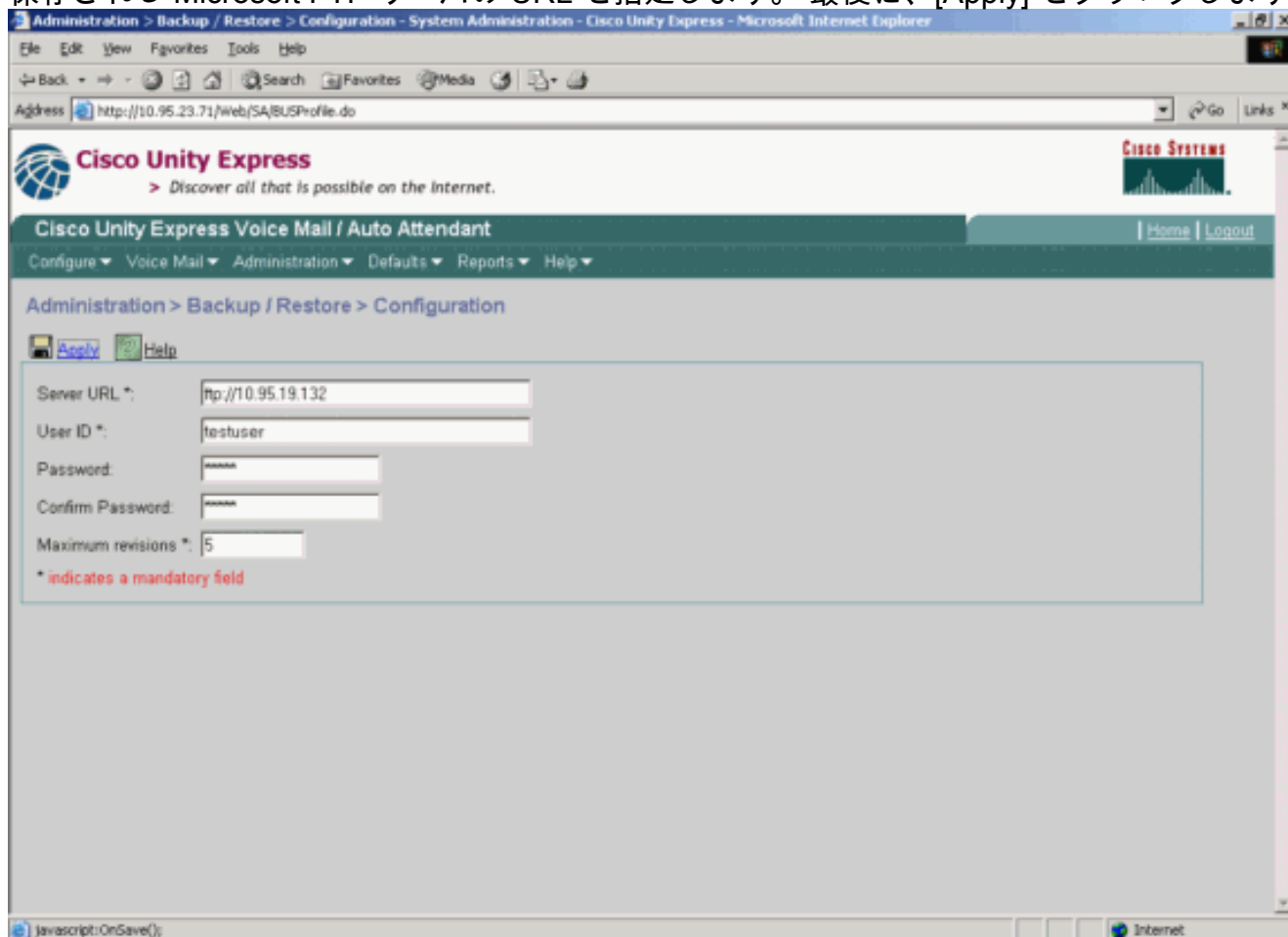
設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

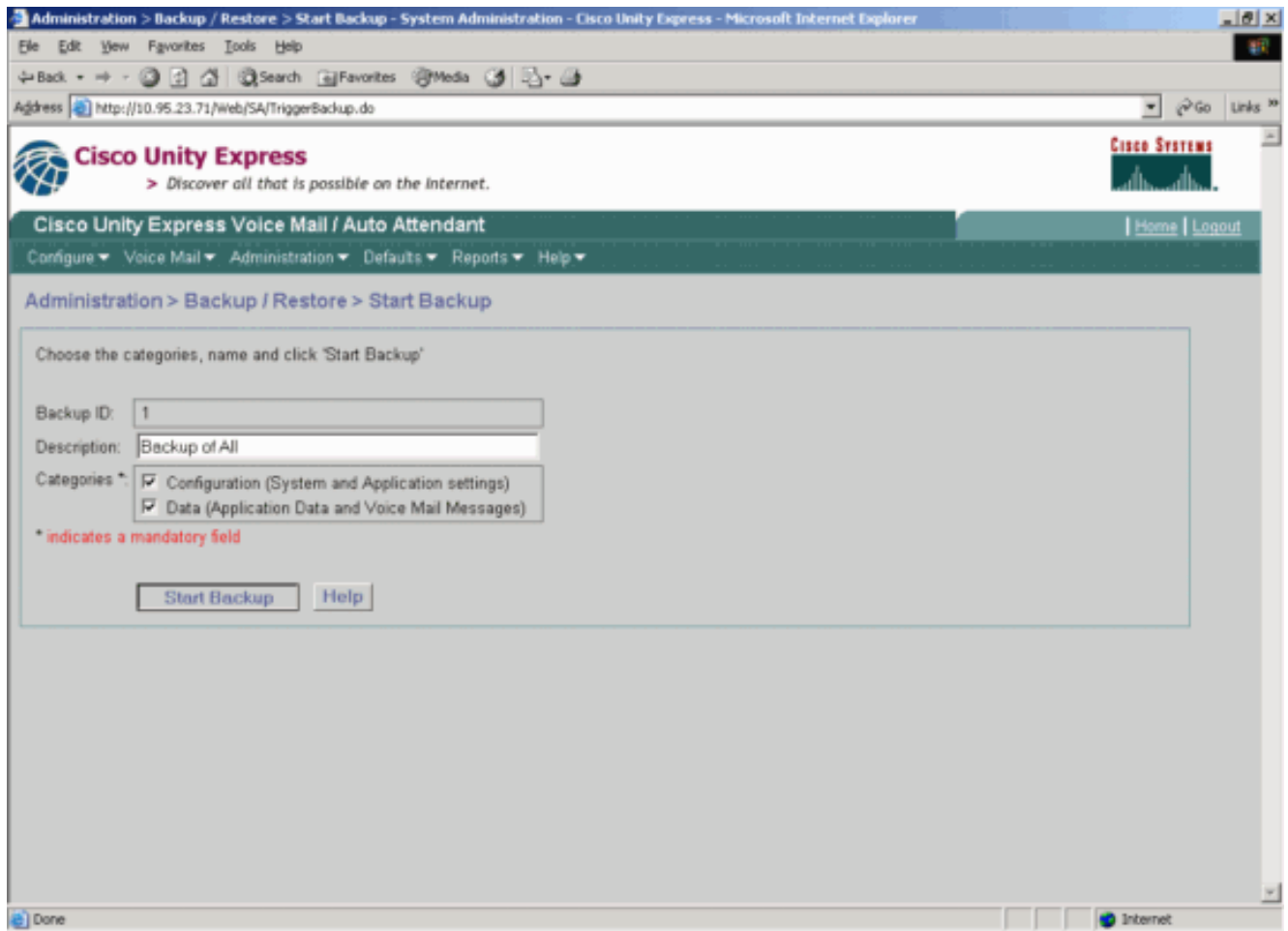
バックアップ設定

バックアップ操作を実行するには、この手順に従います。

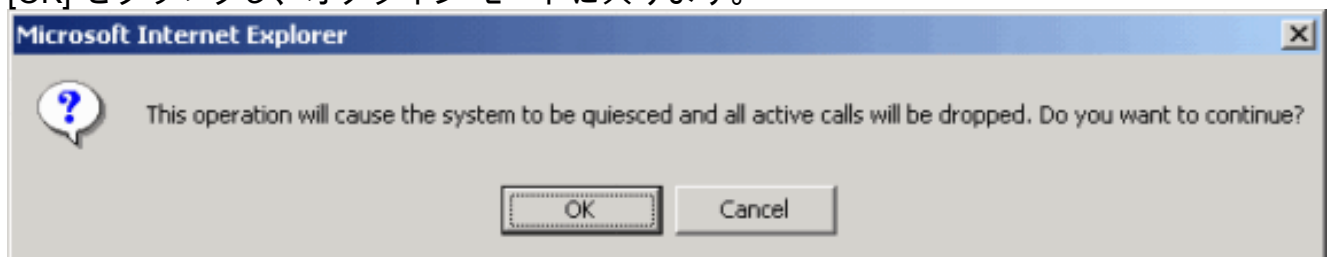
1. [Administration] > [Backup / Restore] > [Configuration] を選択します。そして、ファイルが保存される Microsoft FTP サーバの URL を指定します。最後に、[Apply] をクリックします

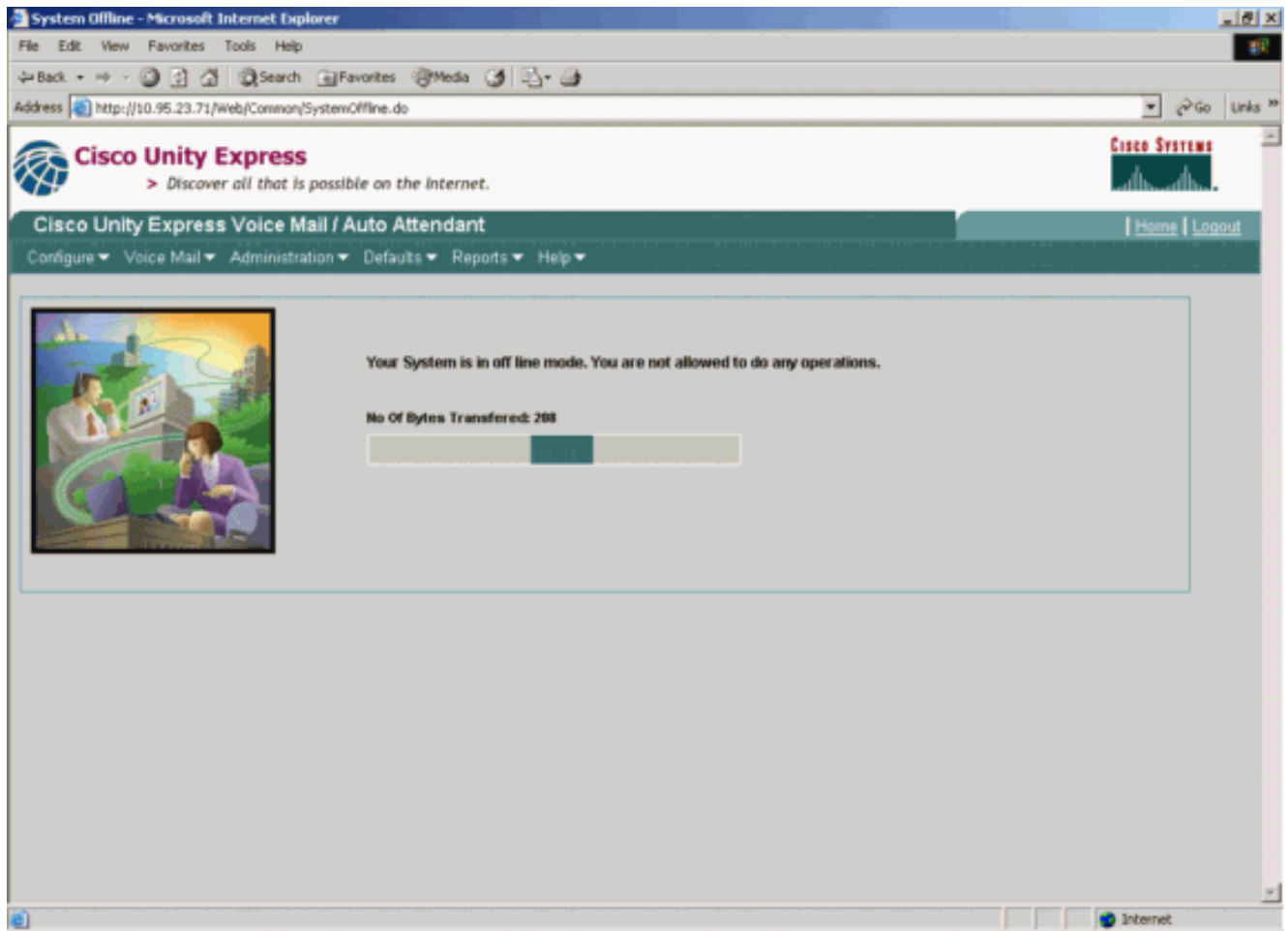


2. バックアップおよび復元するデータ カテゴリ タイプのチェックボックスをオンにします。[Start Backup] をクリックします。注: シスコは、設定とデータ カテゴリの両方をバックアップすることを推奨します。

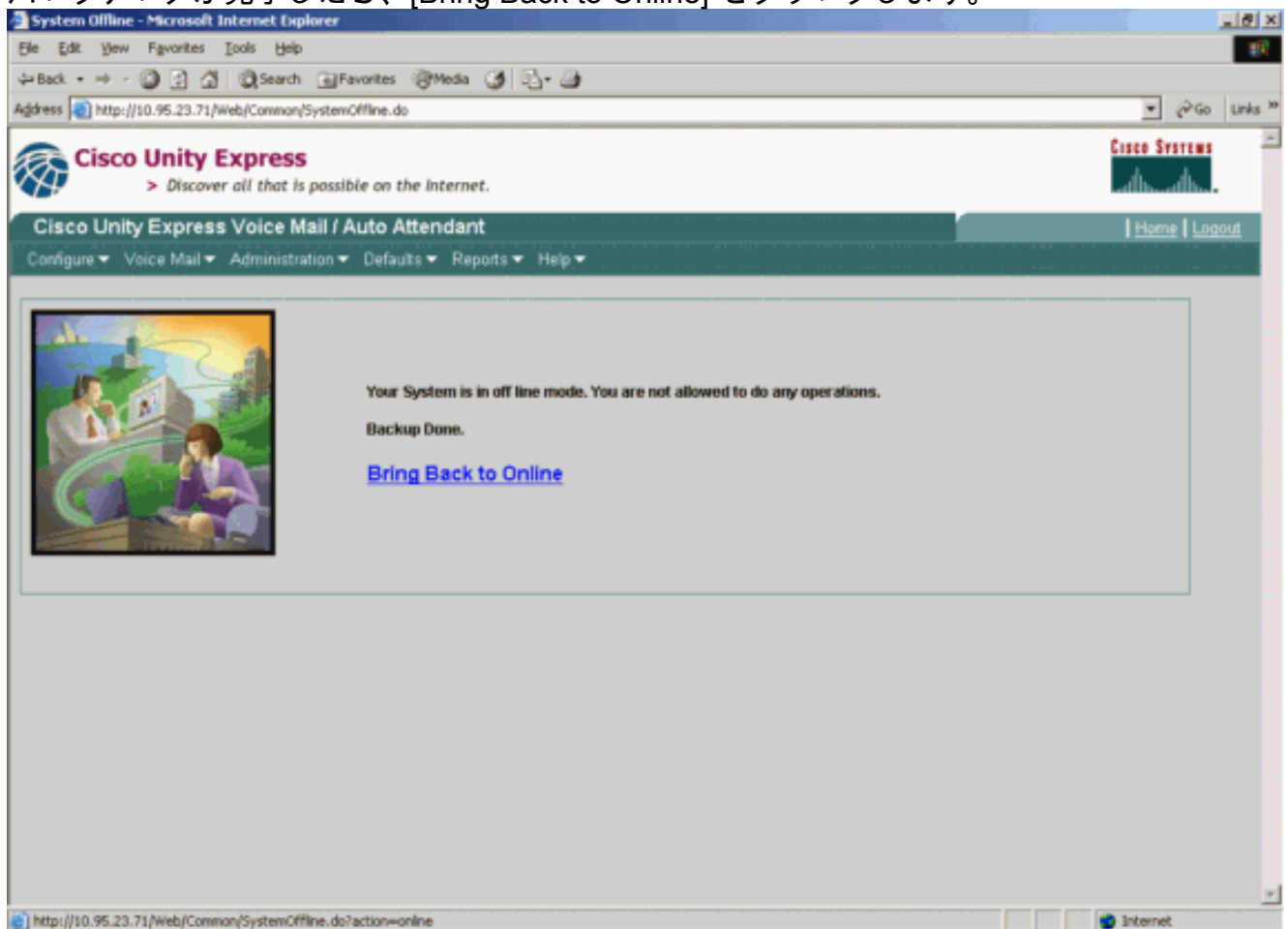


3. [OK] をクリックし、オフライン モードに入ります。





4. バックアップが完了したら、[Bring Back to Online] をクリックします。

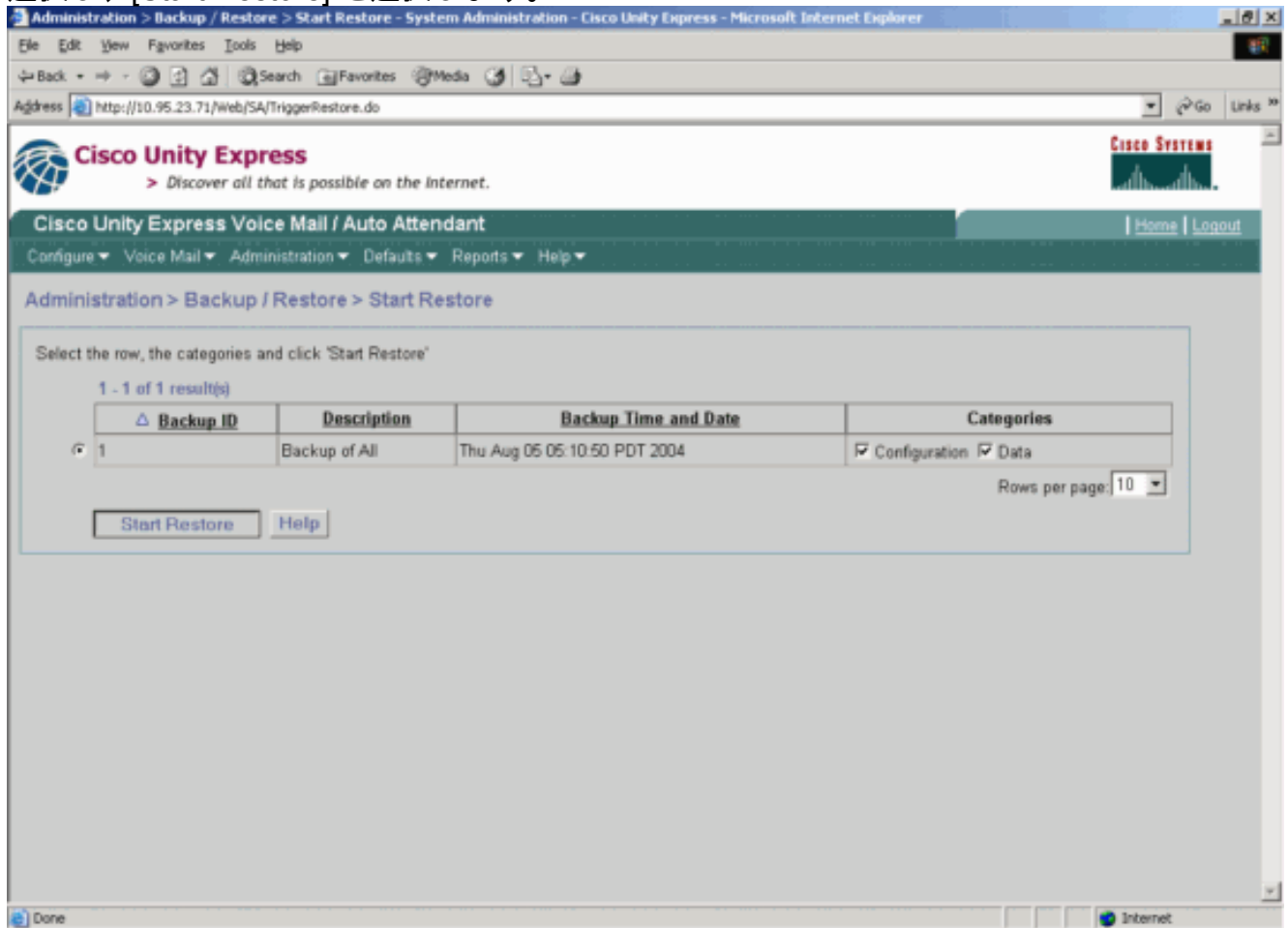


復元設定

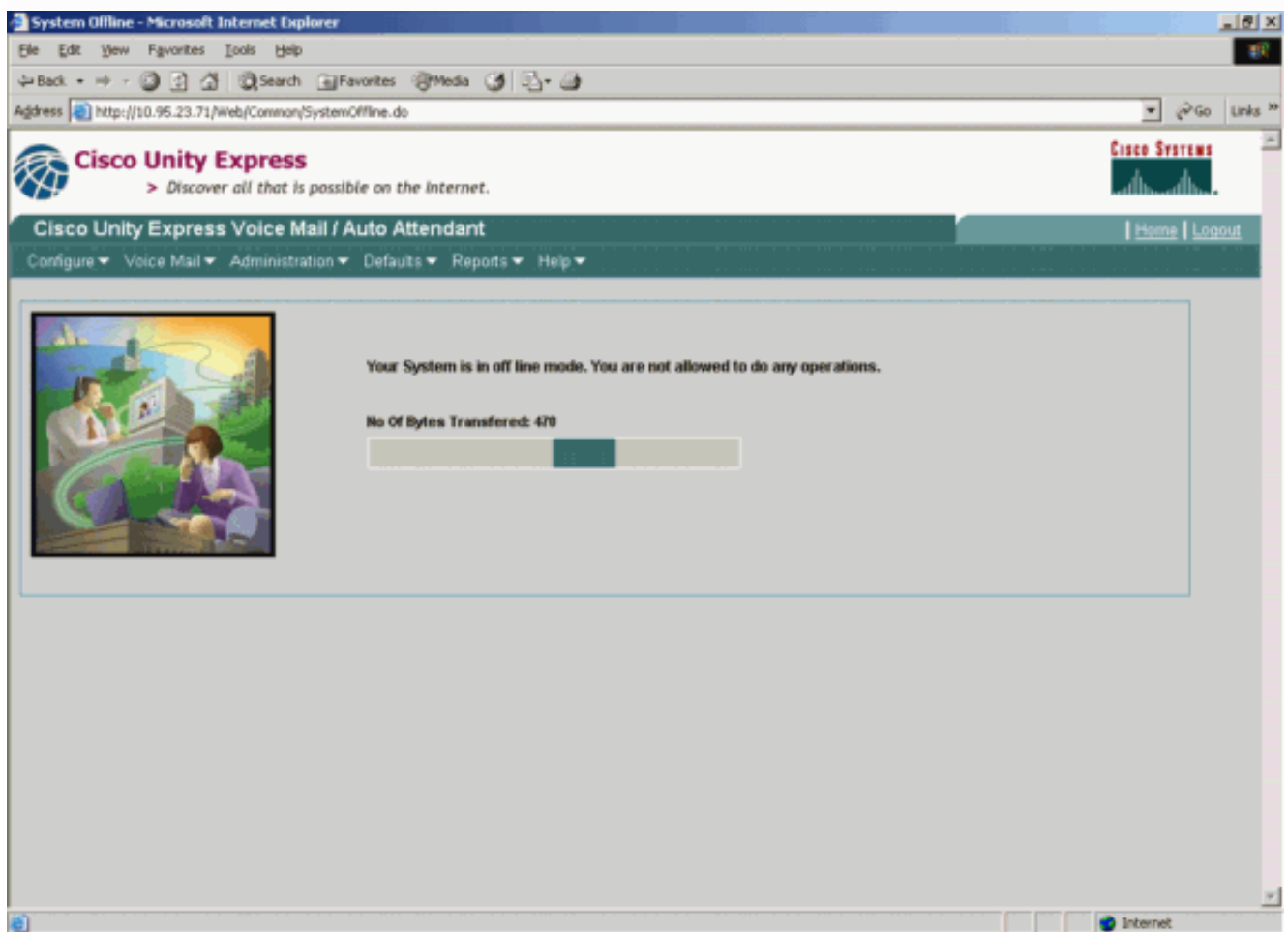
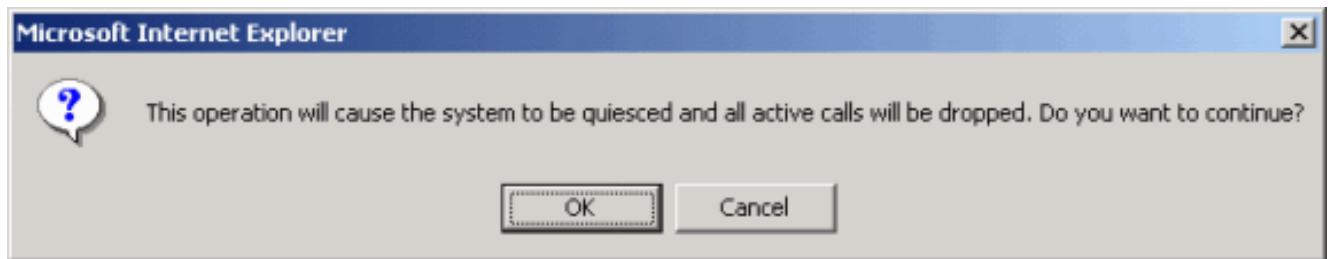
復元操作を実行するには、この手順に従います。

注: 復元プロセスは、新たに再作成されたカードで行う必要があります。以前持っていたライセンスより少ないライセンスを持つシステムには復元できません。また別のライセンスを持つシステム(たとえば CiscoCallManager 対 CiscoCallManagerExpress ライセンスなど)には復元できず、ライセンスはまったくバックアップされません。

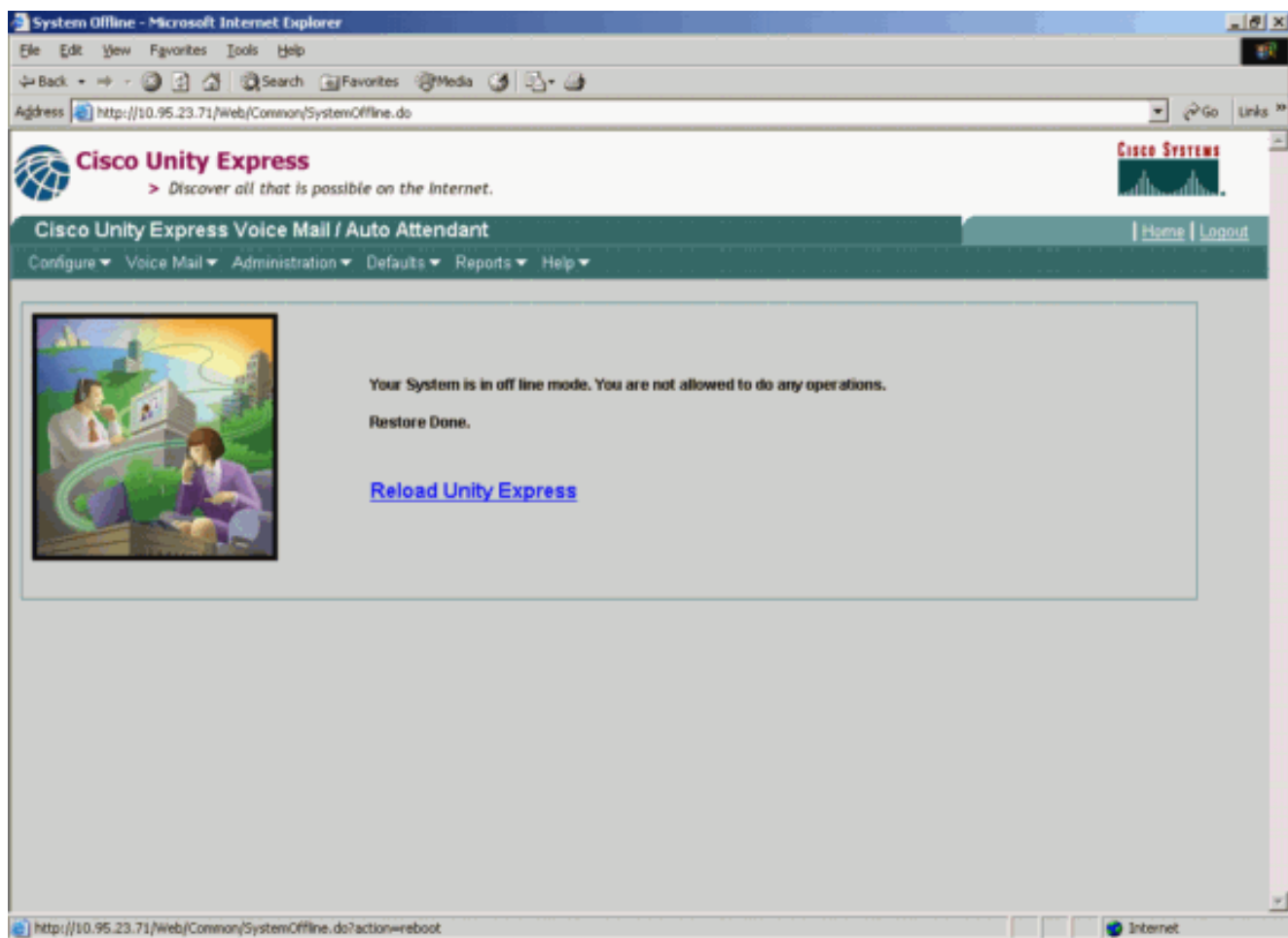
1. [Administration] > [Backup / Restore] > [Start Restore] を選択します。復元するカテゴリを選択し、[Start Restore] を選択します。



2. [OK] をクリックし、オフライン モードに入ります。



3. 復元が完了したら、[Reload Unity Express] をクリックし、システムをオンラインに戻すため、復元した設定を有効にします。



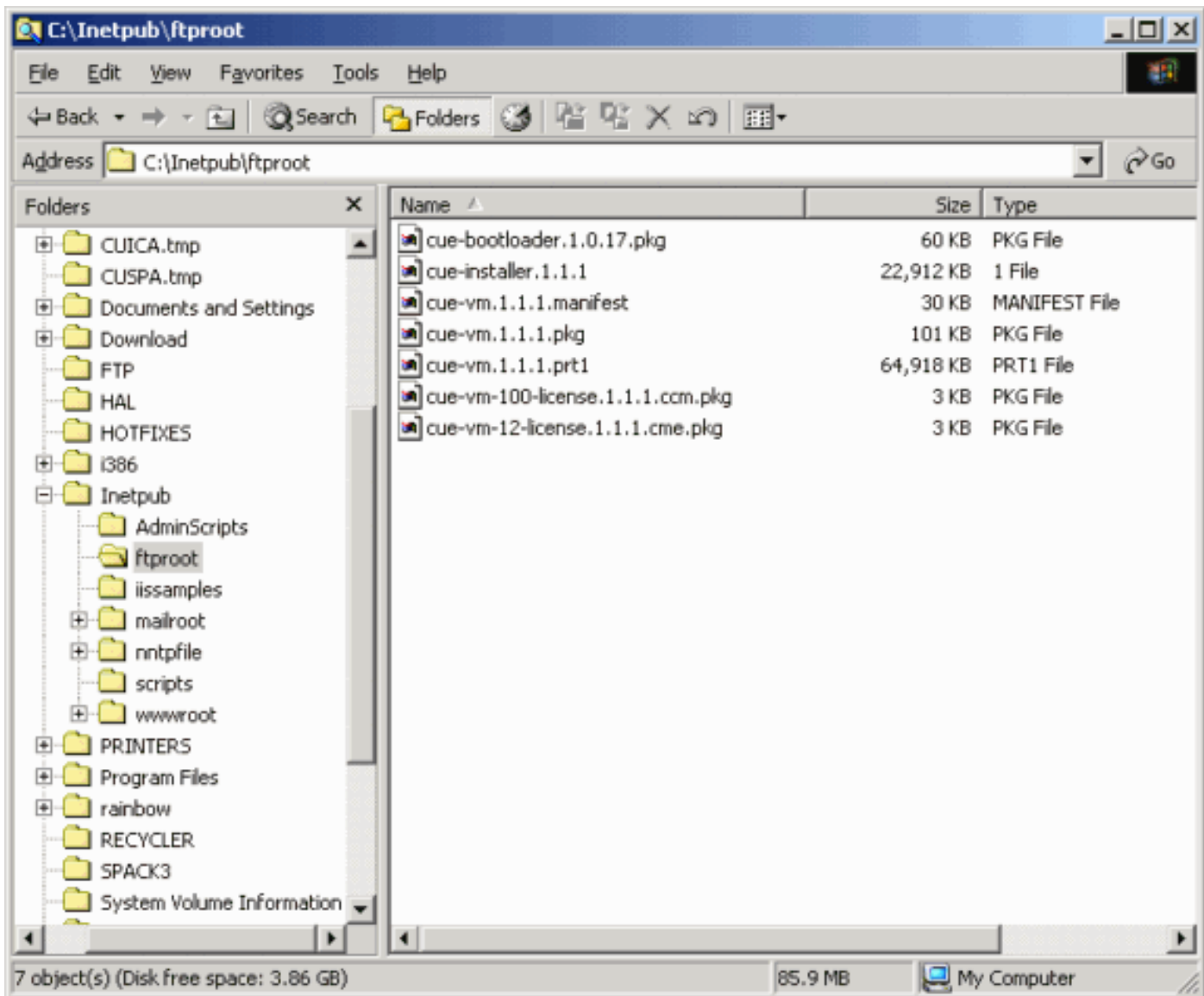
確認

このセクションでは、設定が正常に機能するかどうかを確認する際に役立つ情報を示しています。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録](#) ユーザ専用) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

設定のバックアップと復元が正しく完了したことを確認するには、次のステップに従います。

data_1 と configuration_1 フォルダがあること、またバックアップコンテンツが含まれていることを確認します。



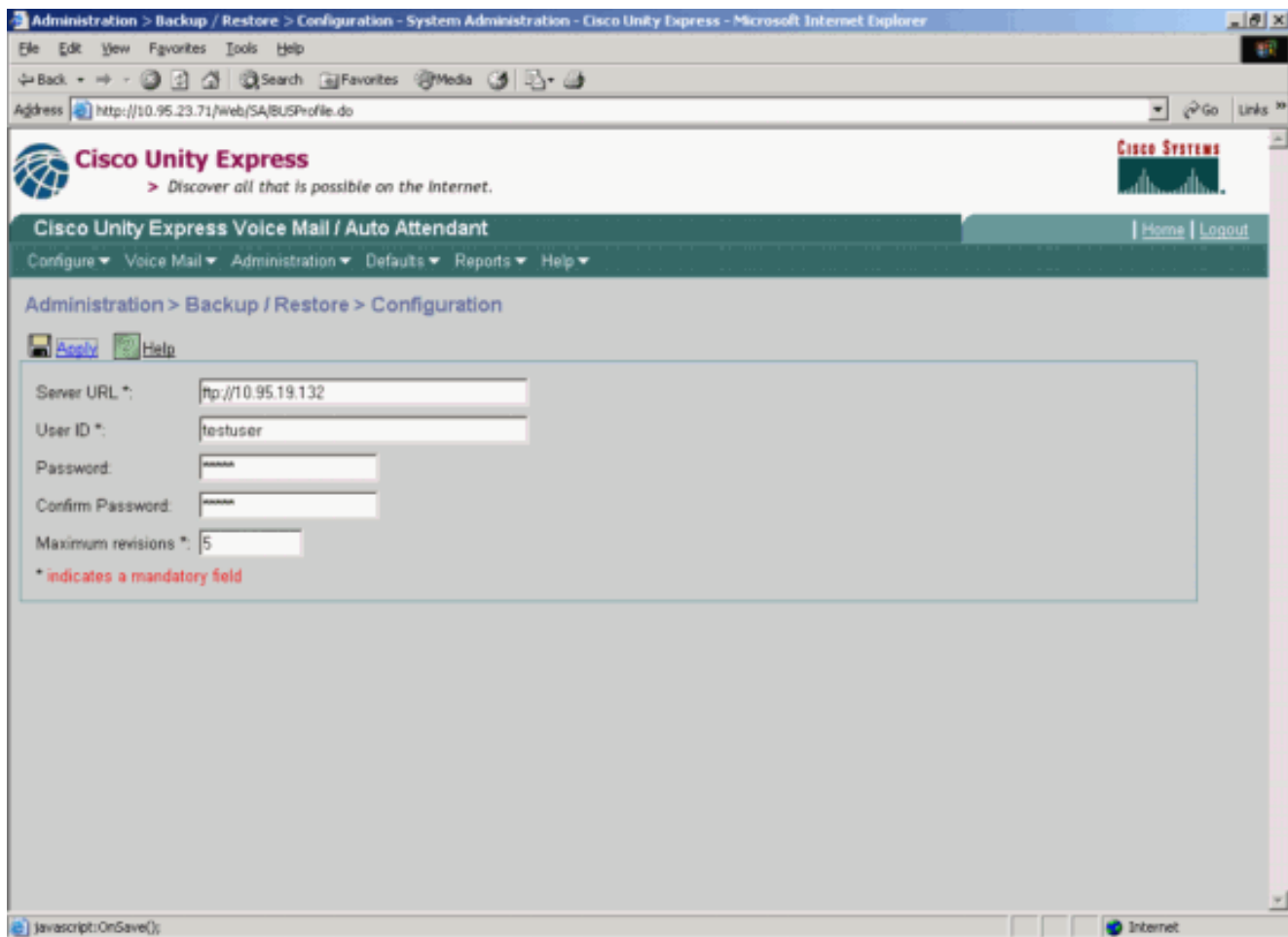
トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

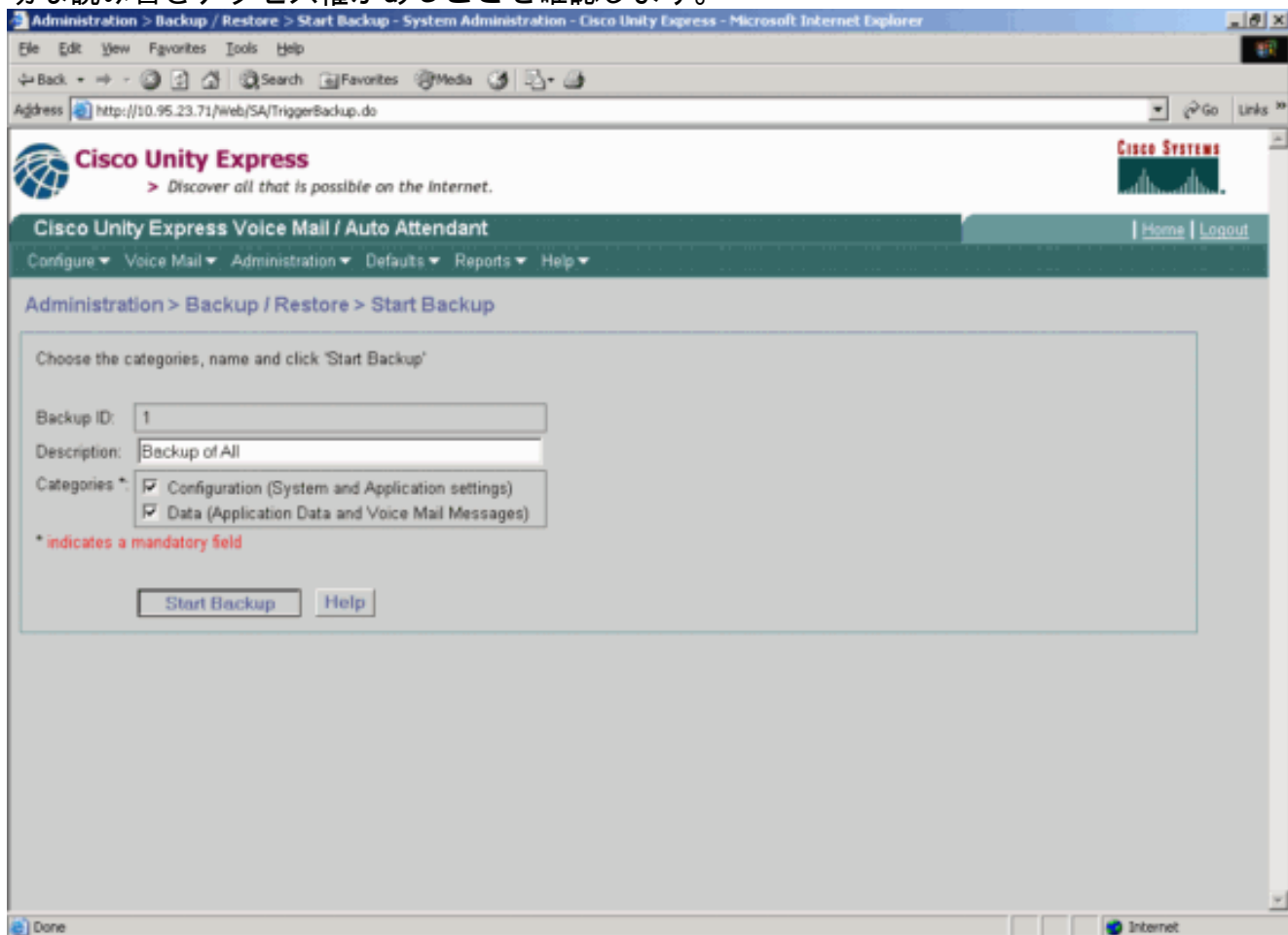
トラブルシューティング手順

設定をトラブルシューティングするには、次の手順を実行します。

1. Microsoft FTP サーバと Cisco Unity Express 間の IP 接続を確認します。



2. Microsoft Windows ユーザ アカウントに、Microsoft FTP サーバ サイト ディレクトリへの適切な読み書きアクセス権があることを確認します。



3. Microsoft FTP サーバで FTP パブリッシング サービスが起動されていることを確認します。

4. Microsoft FTP サーバの history.log ファイルを表示して、FTP 転送が失敗した理由を判断します。

関連情報

- [Cisco Unity Express 管理者ガイド](#)
- [Cisco Unity Express Security Guide to Best Practices](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)